



第73号 令和5(2023)年4月15日
富山県合唱連盟

事務局 北日本新聞社事業局内

〒930-8680

富山市安住町2番14号

TEL (076) 445-3355

FAX (076) 431-1924

発行人 中井隆司



第22回
富山県室内合唱コンサート
合唱講習会
講師 / 作曲家 三宅悠太
2023.2.11(土・祝)
アイザック小杉文化ホール



第22回室内合唱コンサート

合唱講習会 講師 三宅悠太氏

とき 2023.2.11(土・祝)
ところ アイザック小杉文化ホール

2023年2月11日(土・祝)、アイザック小杉文化ホールにて「第22回富山県室内合唱コンサート」を開催しました。午前の合唱講習会には講師として作曲家の三宅悠太先生をお招きし、三宅先生作曲の「いっしょけんめい」「このみち」の2曲を受講しました。演奏のポイントや作曲家ご自身の思いを直に聞くことで、演奏がみるみる変わり、大変有意義な講習会となりました。

- ・ 富山高等学校コーラス部
- ・ 富山東高等学校合唱部
- ・ 砺波高等学校合唱部
- ・ 高岡高等学校合唱部
- ・ 合唱団「あるも」
- ・ 富山少年少女合唱団
- ・ 富山大学教育学部附属中学校コーラス部
- ・ 女声合唱団「クール・クロア」
- ・ 福野あすなる合唱団
- ・ 合唱団「楽音樹」
- ・ 新湊合唱クラブ
- ・ 富山大学合唱団
- ・ 女声合唱団ヴォーチェ・フオンターナ
- ・ 砺波市立出町中学校合唱部
- ・ 魚津高等学校音楽部
- ・ 女声アンサンブル舞歌makka
- ・ 女声合唱団「コールド麗」
- ・ 合唱団おさわの

合唱講習会に参加して
福野あすなる合唱団

斉藤 睦子

今回の講習会は、作曲家の三宅悠太先生。最初の練習曲は「いっしょけんめい」。シンクロナイズドで始まる意味。多彩なニュアンスを感じて。身体と歌詞をシンクロナイズドさせて。前後の小節から引力でひかれあうように。p(ピアノ)でもエネルギーはff(フォルテシモ)。すいすい、ゆうゆう等のフレーズの持続。弱奏の表現を大切に、等々。2曲目は「このみち」。美しいユニゾンが魅力。毛筆のはらいのように小節をつなぐ。語感とフレーズ。音色とニュアンス。同じ文字が2度続くところは、同じ物ではなく違う物と考える。最後は新しい世界へ向かうつもりで、など、細部に至るまでの解説があり、あっという間に2時間が経過。

途中、先生ご自身が「ひきこもった時期もあるんですよ」と驚きのカミングアウトあり。最後に「合唱IIブレンド」無理に合わせて個性を殺すのではなく、様々な個性を持つ者が、一か所に音を合わせる事である、と。今ちょうど、わが団も、シンク

1セッションを使った歌を練習して、大変参考になりました。心が温かくきれいなうた。三宅 裕太先生の合唱講習会



合唱団ミルステラ 池上 直子

「いっしょけんめい」の演奏のポイント①シンクロナイズ②多彩なニュアンス③フレーズの持続感④弱奏の表現について、三宅先生が自身の楽譜に音符や記号を直接書き込まれる。スクリーンの楽譜を見て受講者も自分の楽譜に記入し、先生と情報を共有する。フレーズごとに歌い方を具体的に繰り返し練習した。「すいすい」「ちよろちよろ」等、日本語に多い擬態語・擬音語については、身体とシンクロナイズさせ、それぞれの違いを比較しながら実感することができた。ご自身の「3羽のひな」のエピソードが紹介されたsoft voiceの部分。親鳥がいなくなり巣から落ちたひなを懸命に助けようとしたが、できなかった。まだ温かいひなを両手に乗せた時の幼い命の重さ。その時の思いを音に乗せて歌ってほしい。先生の思いを直に聴いた後の歌い方は、以前とは全く違っても深いものになった。三宅先生の純粋で温かなお人柄に触れ、心が浄化された講習会だった。

「歌うは楽し」

女声合唱団ヴォーチェ・フオンターナ 塚原 早苗

富山県室内合唱コンサート当日は、春の暖かさを感じられる日となりました。午前中は、講師に作曲家の三宅悠太先生をお迎えして、「いっしょけんめい」と「このみち」の合唱講習会がありました。詩に寄り添った三宅先生の曲作りを考えながら、どのような表現がふさわしいのか想像しながら歌いました。とても充実した時間を過ごすことができました。午後からは各団体の発表となり、ヴォーチェはボブ・チルコットの作品から「ゲローリア」と「サンクトゥス」の2曲を歌わせていただきました。ラテン語に四苦八苦しながらも、メンバー全員で集中力を発揮してなんとか歌いきることができました。今回はアイザック小杉文化ホールという素晴らしい響きのホールで歌うことができ、また富山県合唱連盟の方々のお陰もあって、このコンサートを無事終えることが



できたことを感謝しています。室内合唱コンサートに参加して 高岡高等学校合唱部 松本 想生

僕はこのコンサートに出る1週間前に風邪を引きました。2、3日前には治ったものの、喉の痛みは取れず、棄権も考えました。しかし、仲間のためにも出ることを決めました。本調子で歌えなくなつて分かったのは健康に楽しく歌えることが当たり前ではないということ。楽しさ半分、悔しさ半分で本番を迎えました。本番は高岡高校合唱部としていつも通りだったと思えます。僕としては同じテナリの仲間が頼もしく感じました。このときは悔しさよりもお互いを支え合う、合唱の醍醐味を味わうことができました。また、コンサートでは普段聴くことのできない他の合唱団の合唱を味わえました。三宅先生の演奏直後の講評も僕には新鮮で、毎度参考になりました。老若男女問わず、合唱を通して素晴らしいものを共有できた気がします。



今回の経験を生かして、歌えることに感謝して、これからも合唱に取り組んでいきたいと思えます。『合唱の良さを感じた一日』 砺波高等学校合唱部 今井 響

「合唱の良さを感じた一日」

今井 響

午前に行われた講習会では、三宅先生が必ずお話しされる「倚音」をはじめ、シンクロナイズンなどの音楽の仕組みといったものを学ぶと共に、詩を読み込んだ先に見えてくる表現を、どのようにして伝えるかを理解することができました。他の曲でも生かすことができそうです。

午後に行われたコンサートでは、富山県内の様々な団体の演奏を聴き、それぞれの個性を感じ、よい刺激を受けました。また、三宅先生が一体体ずつ丁寧に講評をなさっていた時の言葉や話し方から、人間の豊かさや心に触れ感動しました。私は、部活動の練習で、どのように自分の考えや思いをメンバーに伝えたらよいかについて悩んでいたので、参考にさせていだきたいと思えました。



コラム

「歌う楽しみ、聴く楽しみ、合唱の思いを語りませんか！」
「私たちのイチオシ合唱曲」

魚津高等学校音楽部 出村南由汰

私が紹介するイチオシ合唱曲は高野民雄作詞、森山至貴作曲の『太陽と海と季節が』です。この曲は今年の室内合唱コンサートで魚津高校音楽部のメンバーが心を一つにして歌った曲です。春の柔らかな温もりを感じさせる伴奏。言葉の口にはすべりずるほど深みが出てくる歌詞と、美しい旋律が特徴的だと思えます。高校生の私たちがしか表現することができない清々しさやエネルギーに満ち溢れた感情を歌詞に乗せて歌いました。女声と男声の織りなす掛け合いや美しいハーモニーも魅力です。サビに向かって高まっていく旋律の盛り上がりも感情の高まりを実感できます。魚津高校音楽部のチームワークや歌唱技術の成長に繋がった楽曲であり、みんなで一つの合唱を作り奏でることの楽しさを再発見することができた曲でもありました。

《新規加盟団体紹介》

A Small Cedar Choir (アスモールシダー Choir)

A Small Cedar Choir は、20

20年に射水市立小杉中学校合唱部のOGを中心に結成された若い合唱団です。団員は、中高生を中心に大学生や社会人まで在籍しています。また、現在はOG以外のメンバーも在籍しており、コンクール出場や演奏会の開催等を目標として活動の幅を広げています。コロナウイルスの流行によってすべての音楽活動が停止した年に、どのような状況でも歌うことを諦めたくないという強い意志のもと歩み始めた私たちですが、思うように活動ができない苦しい時期もありました。しかし、この度かねてから目標としてきた「声楽アンサンブルコンテスト全国大会」に出場する機会をいただき、初めて公の場で私たちの歌声を披露することができました。大会では、自分たちの歌声を聴いてもらえる喜びと、素晴らしい舞台で歌える喜びで全身が満たされ、とても充実した時間を過ごすことができました。これからは歌える喜びを胸に、多くの方に「Cedarの歌声が聴きたい！」と言ってもらえるような合唱団を目指して活動していきたいと思っております。

第29回花水木会

コーラスコンサート

令和4年12月11日(日)

富山市民プラザ アンサンブルホール

日頃から練習している花水木会オリジナル編曲による曲を中心に15曲の歌を発表しました。師走の気忙しい時節にもかかわらず、大勢のお客様がご来場下さり、中には花水木会のコンサートを楽しみにしているという方も多く、鳴り止まない拍手のうちに感動的なフィナーレを迎えた時の情景が今も目に浮かびます。

厳しく不安定な世の中だからこそ前向きに歩みを止めることなく精進し、歌い続けたいという思いを新たにしています。

富山大学合唱団

第59回定期演奏会

令和5年2月19日(日)

富山市民プラザ

アンサンブルホール

代表の吉井を筆

頭に、団員と指揮

者の久田先生、ピ

アニストの星野先生、

に支えられ、無事終えることが出来ました。

雰囲気の違い4つのステージは我々の様々な姿を見ることが出来たのではないかと思います。今回は練習の中で、いかに歌詞を「音」ではなく「言葉」で伝えられるようにするかということを考えて歌いました。歌詞を朗読したり、歌詞解釈について話し合ったりと歌うこと以外にも時間をかけ、曲を作り上げていきました。

本番は最初こそ緊張した様子でしたが、徐々にひとり一人が楽しんで伸び伸びと歌うことができていました。練習で身につけた表現力を生かし、聴きにきて下さった方ひとり一人に我々の演奏が届くように演奏できたのではないかと

思います。

来年度は第60回という記念の年になります。練習を重ね、より一層心に響く歌を届けていきたいです。

合唱団「楽音樹」

3月12日(日)

富山市民プラザ2階「ふれんどる」

新企画「活動発表会」オープニング「クラクティス」を催しました。

本来なら3月に定期演奏会を開催し、作曲家の山下祐加先生による委嘱作品「勇気の系譜」披露演奏の予定でしたが、コロナ禍で十分な練習維持に至らず順延に。

しかし一方で、この半年間に5名の方々の新入団があり、音楽活動へのニーズは市井(しせい)に必ず在ると確信。そこで街の中心部での「公開練習と通し演奏」により、普段の風景をご覧いただく会を企画した次第です。

お客様を前にして、団員も緊張感を抱きながら真剣に歌いました。

富山少年少女合唱団第55回演奏会

3月21日(火・祝)

富山県教育文化会館

昨年は新型コロナウイルスの影響で定期演奏会を開催することが叶わなかったため、ようやく開催することができ、本当に嬉しく思います。この日を心待ちにしていました。

ゲストにソプラノの横内桂子さんとギターの手保侑典さんをお招きしての第二部は、ミュージカルナンバーに初挑戦。素敵な歌声とギター、ピアノの音色と合わせて歌う楽しさを実感した定期演奏会となりました。

マスクを外し、広いホールで心を合わせ、声を響かせ歌う喜び、この素晴らしい経験を多くの友達にもぜひ体験して欲しいです。富山から世界へ届け、私たちの歌声をモットーに富山少年少女合唱団24名はこれからも歌い続けます！

— 今後の演奏会予定 —

第17回富山県立高岡高等学校合唱部コーラスコンサート

5月27日(土)

富山県高岡文化ホール

富山県立魚津高等学校音楽部

5月28日(日)

新川文化ホール/小ホール

富山あざみ女声合唱団

第39回定期演奏会

6月24日(土)

富山市民プラザ アンサンブルホール

アンサンブル舞歌&合唱集団

Arcus ジョイントコンサート

7月16日(日)

富山市民プラザ アンサンブルホール

富山県立富山高専学校コーラス部

第53回コーラスコンサート

7月22日(土) 富山県教育文化会館

第60回富山中高等学校

7月28日(金) 富山県教育文化会館

女声合唱団「ヴォーチェ・エラ・オントーナ」

創立35周年記念第13回演奏会

10月8日(日)

富山県高岡文化ホール

男声合唱団K&K 第42回演奏会

10月29日(日)

富山県民会館

小矢部市民合唱団「小矢部市合唱祭」

11月3日(金・祝)

富山市民プラザ アンサンブルホール

富山アカデミー女声合唱団

50周年記念コンサート

11月5日(日)

富山市民プラザ アンサンブルホール

第60回富山大学合唱団定期演奏会

2024年2月18日(日) 会場未定

合唱団「楽音樹」第11回定期演奏会

3月3日(日)

オーバード・ホール/中ホール

富山少年少女合唱団

第56回定期演奏会

3月 会場未定

編集後記

WBCで侍ジャパンが世界一を成し遂げ、日本中が歓喜の渦に酔いしれる中、連盟は新年度を迎えました。

コロナ禍から3年の歳月が流れ、ようやく音楽文化活動にも規制緩和の兆しが見えてまいりました。一方世界では、出口の見えない戦争や、未曾有の大地震による闇が影を落としています。そんな中、3年ぶりに室内合唱コンサートを開催、講習会にはエネルギーな三宅先生を講師としてお招きし、日頃の練習の成果を披露致しました。久し振りの演奏会は心に潤いと感動を与えてくれました。

とは言え、合唱界では高齢化による年齢の壁や、合唱団員の減少を如何に止めるかが課題になっています。

更に、団の活動遂行にも暗中模索し続けているのが現状です。

8月には、東京混声合唱団と連盟合唱団との特別演奏会を開催する予定です。合唱の醍醐味を再認識することが出来る絶好の機会と考えます。そして合唱人口増員の起爆剤になれたらいいのですが……。

これからも広報部はその一助になれるよう情報の発信に務めてまいります。

広報部

東京混声合唱団 富山特別演奏会

日時 2023.8.13(日) 15:00 開演
会場 オーバード・ホール
指揮 山下一史氏



プログラム

♪ 「原爆小景」 作詩 源民喜 / 作曲 林光
東京混声合唱団

♪ 「唱歌の四季」 編曲 三善晃
東京混声合唱団 富山県合唱連盟特別合唱団

主催 北日本新聞社 富山県合唱連盟